

十八年前、皆さんは弱々しくも愛情に包まれて誕生し、その後、知力も体力も大きな成長を遂げたと思います。しかし、私は歳をとり知力体力とも衰えてしまいました。でも、私も皆さんに負けずに成長している部分があります。それは、経験を重ねて得た精神力です。「卒業おめでとう」心の成長は永遠であることを胸に未来に進んでください。

○飯島 泰樹 (副校長)

卒業生に向けて



文理開成高等学校

千葉県鴨川市横渚 815 番地
電話：04-7092-0267
FAX：04-7092-0260
<http://www.bunri-kaisei.ed.jp/>

○藤田 晋 (主幹教諭)

「百聞は一見に如かず」できるだけ多くの旅をし、本物を見て感じて、心を豊かに幸

○会沢 昌之 (通信制教頭)

皆さんの力は未知数です！己の力で今後の人生を開拓されることを願っております。一歩ずつ前進しよう。

○永井 悟 (全日制教頭)

ご卒業おめでとうございませう。常に自分を信じ、今という時を大切にしてください。必ず道が開けるでしょう。



○卒業生の皆さんの前には無限の可能性が広がっています。どうぞ健康に留意されそれぞれの目標に向かって大きく羽ばたいてください。小原久佳

○ご卒業おめでとうございませう。一緒に全力でやった君たちとの体育は本当に楽しかった！体育館での思い出を忘れないでください。有馬唯歩

先生方より一言

せな人生を歩んでください。



○人生は幸せに思うときがあれば苦しい場面もあります。ですが、きっと未来には素敵なことが待っています。応援しています。 佐山大輔

○皆さんと過ごせたことを嬉しく思うとともに、巣立ちの寂しさも感じています。皆さんの未来が豊かなものになるよう願っています。 赤沼萌穂

○三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間で多くのことを学べましたか。人生、日々勉強です。頑張ってください。 吉崎哲也

○これから皆さんは、今まで自分が得た力を活かす立場へステップします。皆さんが切り拓く未来に幸多からんことを願っています。 **宮坂凱人**

○ご卒業おめでとうございませう。あつという間に三年間が終わってしまいました。これからの皆さんの幸せを祈っています。 **耿穎**

○これからそれぞれの未来に向かって歩いていきます。「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」これからも頑張ります！ **曾令芳**

○卒業おめでとうございます。私にとって皆さんは教員になって初めての卒業生です。寂しくなりますが、これからも応援しています。 **齋藤玲奈**

○先人のつげにより、若者に負担を負わせる社会になると言われ、申し訳ない気持ちと、できる限りの応援をしたい気持ちです。頑張れ。 **鳥居佳一**

○ご卒業おめでとうございませう。皆さんには、高校で学んだ「経験」という武器があります。この先困難な事があってもきつと大丈夫！ **大森雅弥**

○やる時はしっかりとやるかわいい生徒達でした。皆と過ごした三年間は本当に楽しかった。ありがとう。各々の道で輝いて下さい。 **高梨やよい**

卒業生代表

鈴木 彩夏

私は、この学校にきて自分を変えることができました。自分を好きになれなかった私ですが、クラスメイトや先輩方、先生方のおかげで自分を大切にすることができたと思います。そんなきつかけをくれたみんなに感謝しています。三年間ありがとうございませう。またいつかどこかで会いましょうね。

三年生の先生から



後列左から平山、青木
前列左から舞木、河口 (敬称略)

○**河口 隆司**

ご卒業おめでとうございませう。四航目の三B丸は一人一人が個性の塊で自己主張も強い面々をクルーに、雄大な太平洋への船出となりました。航海長、機関長、甲板長、事務長が時と場にに応じて交代しながらの航海で狭い船内は、いつも平穏無地では無かったはずです。荒海を乗り切れたのは成長の証です。三年間の

航海も終わりとなり、それぞれが異なる進路へ転舵します。これからは夢に向かって前進です。「少年よ！大志を抱け」。大きな野望を持ち、小さな結果を積み重ねて、自分を信じて歩んでください。保護者の皆様、温かい力添えを本当にありがとうございました。

○**舞木 康博**

三年生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございませう。皆さんが入学して三年が経ちました。高校生活はいかがだったでしょうか。楽しかった、面白かった、辛かった、苦しかった、理不尽な思いを出があつたことでしょうか。それらは全て、皆さんの成長の糧になり、これからの人生での活躍に生かされることでしょう。

2019年
——夢——
薦葉祭

さる秋晴れの中、今年度も薦葉祭を開催することができました。

開催に際し、台風被害が残る中、八十二社の企業、団体の皆様にご協賛と応援の温かいお言葉をいただきました。改めて皆様にご心より御礼申し上げます。当日は、約二百名の皆さまにご来校いただき、おもてなしをさせていただきました。今年度の企画は、流行り



のチーズハットグやタピオカをはじめ、フランクフルトや31アイスクリーム、料理部の中華料理、サンテリアなどおいしく楽しい模擬店が開かれました。イベントとして行われた理科部による公開実験やダンス部と軽音部によるステージ発表、今年度新たに生まれたカラオケ大会やミセス・ミスター文理開成コンテストでは、ご来校の皆様と一緒に盛り上がる事が出来ました。定番のお化け屋敷や、保護者会による模擬店とバザー、



職員によるわたあめ・ポップコーンの無料配布なども含め、お子様から大人の方まで楽しんでいただける内容で実施することが出来ました。これからも、文理開成高等学校では生徒の個性を大切に、あらゆる教育活動に取り組んでまいります。また、一人でも多くの卒業生の皆様に本校を訪れていただけますよう、お願い申し上げますとともに、御礼の挨拶の言葉とかえさせていただきます。



検定合格
おめでとう

○実用英語検定 準2級合格

・唐栄沢(三年)

○日本語能力試験

N1合格 ・銭天相(三年)

・林恒鋒(三年)・曹瑞桐(三年)

・周玥瓏(二年)・汪佳盈(一年)

N2合格

・韓家樂(三年)・朱惠軒(三年)

・張軒聞(三年)・王天衣(三年)

・吳家和(二年)・任茜(二年)

・聞竹穎(二年)・沈宏斌(二年)

・徐梓鋒(二年)・田雨陽(二年)

・李晗心(一年)・周人杰(一年)

N3合格

・崔嘉宝(二年)

○JTEST

準B級合格・温承溶(三年)

C級合格

・沈宏斌(二年)・汪佳盈(一年)

E級合格

・李泓翰(二年)・王佳敬(二年)

・朱瑞琦(一年)・李晗心(一年)

体育祭

「文理開成高校体育祭二〇一九」が昨年の九月二十九日（日）に行われました。今回は毎年恒例であった前原海岸での開催が台風十五号の影響による被害（砂浜への流木）のため行えず、本校体育館でプログラムを一部短縮して実施しました。開会式では、応援団長の三年佐藤（紅組）と高橋（白組）がユニークな選手宣誓をし、盛り上げてくれました。



開会式後は「借り物・借り人競争」が行われました。この競技は、スタート後にネットをくぐってからお題のカードを引くなど、障害物競争の要素も取り入れています。〇〇先生のメガネや「昭和生まれの人」など幅広い人たちが参加できるようなお題がたくさん揃っていました。次に行われたのは「しっぽとり合戦」です。通常個人戦で行われるところを、今回初の試みで団体戦を行い、挟み撃ち等、様々な作戦を見ることが出来ました。また、若手の教員も参加し



ましたが生徒に集団で追いかけてもらいました。最後は「選抜リレー」が行われ、紅白で白熱した展開となりました。紅組は白組に半周近く離されていましたが、アンカーの佐藤（三ーB）の所で追いつく展開となり接戦の末、白組が一位でした。両組ともに頑張っていました。閉会式では表彰が行われ、紅組の優勝、MVP、ユーモア賞、頑張ったで賞が発表されました。和田校長からトロフィー・賞品の授与が行われの体育祭は幕を閉じました。



校外研修

十一月二十八日(木)、全校での校外研修を行いました。

研修場所は全学年共通の江戸東京博物館、その後一・二年生が野村證券、三年生は浅草巡りに分られました。江戸東京博物館では、当初の到着予定時刻よりも遅れたこともあり、「超高速参勤交代」ならぬ超高速博物館見学といった状況でしたが、撮影スポットで楽しく撮影するなど、短い時間ながらも江戸・東京の歴史



史を実感することができたのではないかと思います。

博物館見学後、一・二年生は野村證券大手町本社に向かいました。野村證券ではまず鷹の爪団の動画を用いた「株主王ゲーム」という、ターン制のゲームを体験しました。ターンごとの動画を視聴した上で企業の業績と株価の動きを見極めるという株式の仕組みをより身近に感じることができるような内容で、生徒達もターンごとの結果に一喜一憂し、非常に白熱した時間となりました。



株式について学んだ後は日本経済新聞の読み方についての講義を受講させていただき、見出し・一段目の重要性や九面以降の日本経済新聞独特の内容、電子版やスマホアプリによる記事の普及などについて学ぶことが出来ました。

三年生は昼食の後、浅草寺の見物を中心とした浅草巡りに繰り出しました。おみくじの結果を気にしたり、飲食を楽しむんだ人たち、人力車を引いている人と記念撮影を行ったりと、各々の楽しみ方ができていたのではと感じました。

ハロウィン

この日だけは特別に仮装が許されました。皆仮装で大盛り上がりでしたが、本分を忘れることなく、授業もしっかり受けました。

